

——人を、社会を守る——

弁護士のシゴト



JBA
日本弁護士連合会

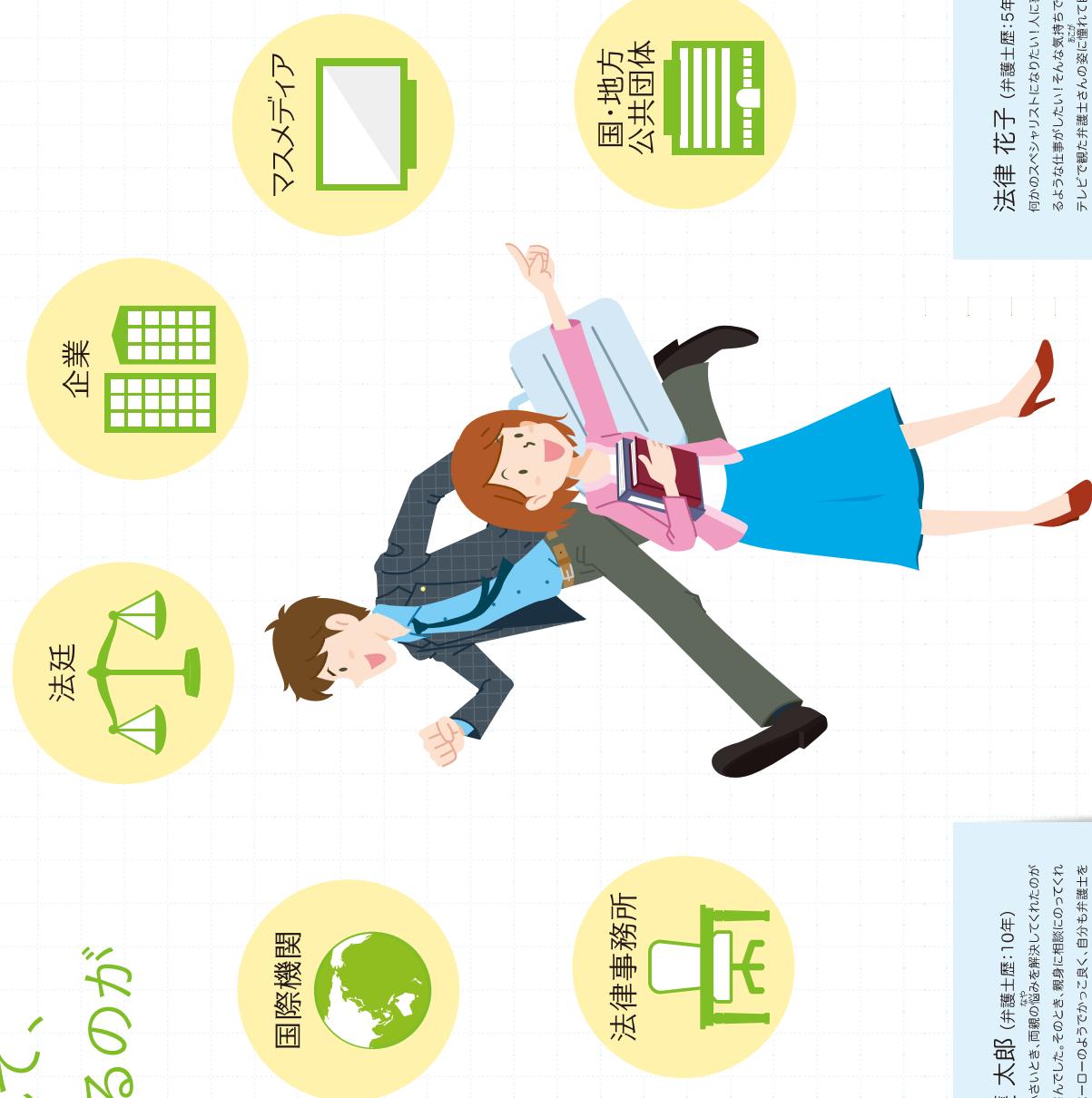
日本弁護士連合会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-3
TEL.03-3580-3841 FAX.03-3580-2866
<http://www.nichibenren.or.jp>

法律のスペシャリストとして、 さまざまな問題を解決するのが 弁護士の仕事です！

弁護士は、社会の中で起るさまざまなトラブルを防止したり
解決したりするために働いています。

多くの弁護士が法律事務所に所属して仕事をしていますが、
事務所（法律事務所）ごとに規模は異なり、
弁護士が一人しかいない事務所もあれば、
数百人の弁護士が所属している大きな事務所もあります。

また、現在では、会社員として働く弁護士や
国や地方公共団体、国際機関などに
職員として勤めている人のほか、
法律の知識を活かしながら国會議員を務める人もいます。
つまり、一言で弁護士といつても働き方はさまざま。
自分に合った職場や働き方が選べ、
活躍できるフィールドが広げられるということも
弁護士という仕事の大きな魅力なのです。



法律 花子（弁護士歴：5年）
何かのスペシャリストになりたい！人に喜んでもらえない
ような仕事がしたい。そんな気持ちでいたときに、
テレビで見た弁護士さんの姿に憧れて目指すよう
なりました。

弁護 太郎（弁護士歴：10年）
自分が小さいとき、両親の悩みを解決してくれたのが
弁護士さんでした。そのとき、親身に相談にのってくれ
た姿がヒーローのようであって、自分も弁護士を
目指そうと思うようになりました。

どんなトラブルを解決するの？

弁護士が解決を目指すトラブルには、

大きく分けると「民事事件」と「刑事事件」という2つの種類があります。

「民事事件」は日常の生活の中で起る争いごとで、

弁護士は事件の当事者の一方の代理人となって困っている人の手助けをします。
また、「刑事事件」の場合、弁護士は犯罪の疑いをかけられた人（被疑者・被告人）を

弁護する役割を果たします。



弁護士の使命とは？

民事事件をどう解決するかということや、

刑事案件においてどう刑罰を科すかということは、

すべて法律に基づいて行われます。

法律は、私たちの自由や権利などを保障し、
ときには権利と権利のぶつかり合いを調整する役割を果たしています。

弁護士は、この法律をしっかりと学び、正しく使う専門家なのです。

弁護士は「基本的人権を擁護し、社会正義を実現すること」を使命とし、

法律の専門家として人々の自由、財産、健康などの権利を守るとともに、

不正が行われることのないように、社会を見守り、

みんなが安心して暮らせる社会になるよう仕事をしています。



この使命を象徴するのが
胸につけている「弁護士バッジ」です。
外側の「ひまわり」は正義と自由を、
中央の「はかり」は公正と平等を
追いかけることを表しています。

弁護士◆弁護士は法律をすべて暗記しているの？

MEMO

たいこほ

弁護士はなぜ逮捕された人を弁護するの？

MEMO

警察に逮捕された人が本当に罪を犯したとは限らないからです。真犯人と間違われて警察に捕まるることはドラマや小説の世界だけではなく、現実にも起ることです。ですから、捕まってしまった人の言い分をよく聞いて、もしご本当に悪いことをしていないのならば、色々な証拠を集め、無実の罪を晴らさなければなりません。また、逮捕されている人が罪を犯してしまった場合にも、どうして罪を犯したのか、どれだけ反省しているかを明らかにして裁判官や裁判員に伝えることが必要です。弁護士が弁護人として手続きに関わることではじめて、適正な裁判が行われ、相当な刑罰が科せられるのです。

弁護士はどこで活躍しているの？

弁護士の働く時間は人それぞれですが、多くの弁護士は朝から夜まで忙しく働いています。
弁護士がどんな日常生活を送っているのか見てみましょう。

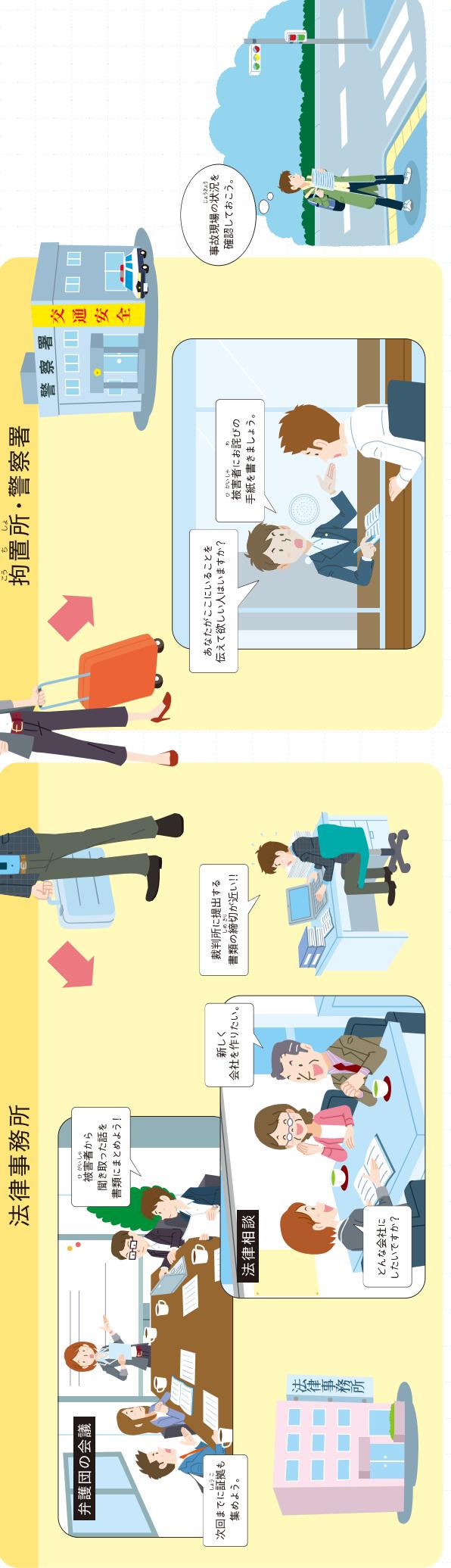
裁判所



弁護士会



法律事務所



“やりがい”を感じる瞬間は？

キミにぴったりな
弁護士タイプは？

弁護士は「人を助ける」ことを仕事としています。トラブルを解決するのは大変なことですが、一生懸命仕事をすることで依頼者の役に立るのは、とてもうれしいことです。多くの弁護士が、トラブルを解決したときの依頼者の安心した笑顔や感謝の言葉にいちばんの喜びを感じています。

学校での勉強は 弁護士になるために必要？



弁護士の仕事は、社会で起きたトラブルの解決です。そして、そのためには、どこにどんな問題があるか見つけること。そう考えると、算数の問題を解くことも、本を読んで作者の思いを読み取ることも、学級活動でクラスの問題をみんなで解決することも、すべてが役に立ちます。

また、弁護士は、トラブルに巻き込まれてしまった人たちに寄り添って解決に向け取り組むため、自分と立場の違う人の気持ちを理解することが非常に大切です。色々な経験をすることが必ず後に立つでしょう。学校生活の中で、スポーツや勉強を頑張ったり、クラブ活動や委員会活動に奮闘したり、友だちとケンカしたり仲直りしたり…そういうすべての経験が弁護士になると活きてくるのです。

将来、弁護士になりたい、弁護士になるかもしないあなた。まずは学校生活を大いに演繹り、楽しんでください。

どんな人が弁護士に向いているの？

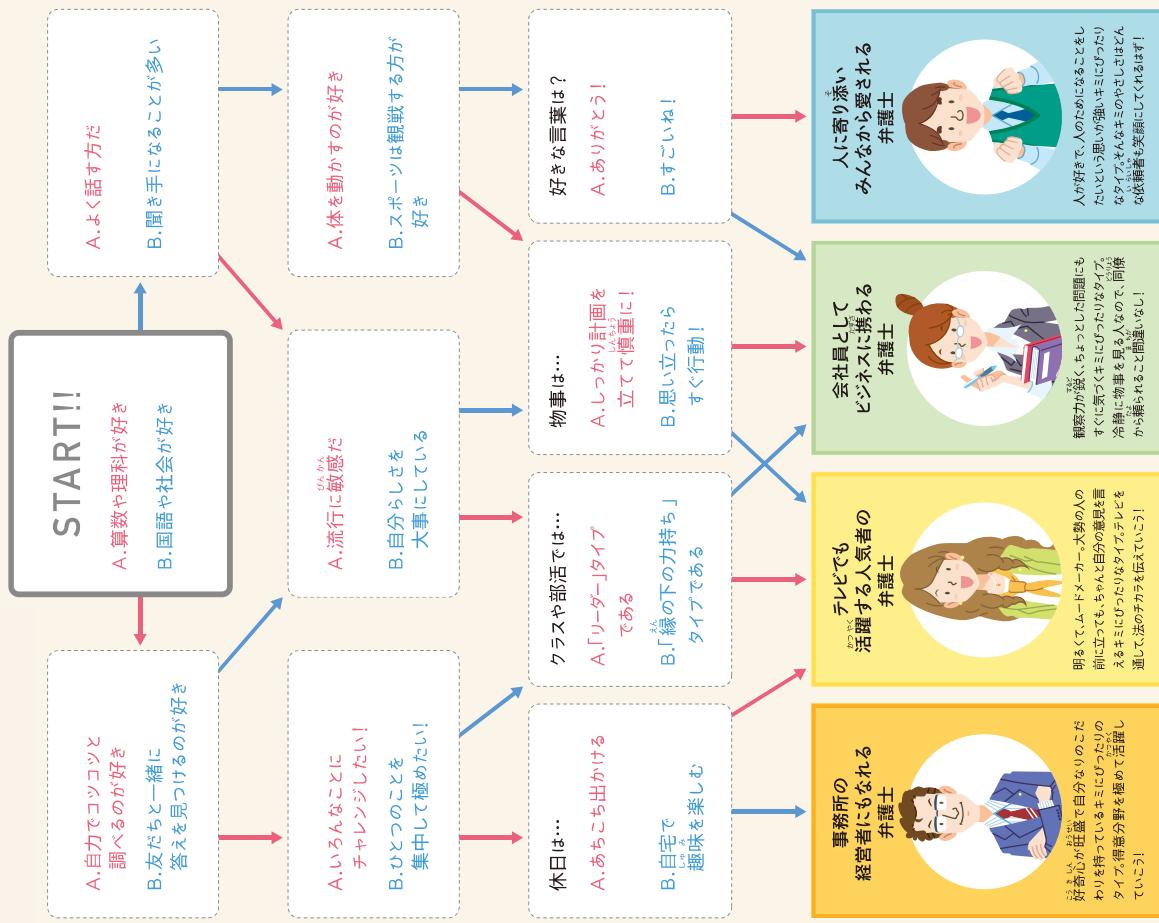
弁護士は、いつも誰かを助けるために働いています。ですから、何より大切なのが「人を助けたい」「人の役に立したい」という純粋な気持ちを持つことです。

また、弁護士の仕事はまず依頼者の話をじっくりと聞くことからはじめります。ですから、クラスのリーダーになるタイプの人ばかりではなく、友だちの話を親身に聞くタイプの人も弁護士に向いているのです。そうすると、弁護士はどんな人にも向いている仕事かもしません。

それでは、あなたがどんな弁護士に向いているか、早速チェックしてみましょう！

適性チェック!!

自分に当てはまるもの
AかBを選んでくださいね。
A → B →



人が好きで、人があなたになることをしたいといつも想ひ、やさしくじつけたり、なタイプの人たちが、みんなから愛されることはあります！

明るくてムードメーカーの大勢の人の前に立ても、ちゃんと自分の意見を言えるときにはびっくりするくらいの冷感的で物事を見る人なので、同僚を通じて、法のチカラを伝えてください！

好奇心旺盛で自分なりのこだわりを持つつるぎみにすぐたまつたりのタイプ。得意分野を極めて活躍しているところです。

弁護士になるまでの道のり

本格的に弁護士を目指す場合、大学を卒業した後、法律のことを専門的に勉強する法科大学院を修了し、司法試験にチャレンジします。合格した後、司法修習を終わらせることが必要となります。

大学

→ 卒業・法科大学院入学試験合格

法科大学院

基礎的な法律の知識を持つている人……2年間
法律を基礎から学ぶ人……………3年間

予備試験

合格

司法試験

→ 合格

司法修習

1年間

→ 終了試験合格

弁護士資格 取得

弁護士になつて、
新たな活躍のフィールドへ!!

START

弁護士Q&A

Q 弁護士のこと、もっと知りたいときは?

A

このパンフレットを見て、もっと弁護士のことを知りたくない人は、日本弁護士連合会のホームページにアクセスしてくださいね。
弁護士の仕事について、さらに詳しく紹介しています！

<http://www.nichibenren.or.jp/ja/kids/>

□ 日弁連 子ども □ 検索

Q 弁護士に相談したいときはどうすればいいの?

A

弁護士は、子どもたちの権利を守るために活動もしています。学校に関するさまざまな問題(いじめ、体罰、学校での事故など)に悩んだとき、また親子関係や非行の問題などに悩んだときは、子どもの人権に関する相談窓口もありますので、ぜひ相談してください。
みなさんからの相談はもちろん、ご家族からの相談でも大丈夫です。地域によって実施している相談の内容はさまざまですが、面談での相談だけでなく、電話で相談できる場合やインターネットで相談予約ができる場合もあります。
ですから、困ったこと、悩んでいることがあつたら、まずは住んでいる場所の近くの弁護士会を調べてみてください。

